

自主性が問われています ～1学期始業式 校長式辞～

4月8日（水）、新型コロナウイルス感染症対策として、3学期の終業式に引き続き、1学期始業式も簡略化し、体育館に全校生が集合せずに校内放送をとおして行いました。

（学校長式辞から抜粋）

4月になりましたが、これまでも増して新型コロナウイルスへの感染防止に細心の注意を払わないといけません。感染拡大が急速に進んでおり、自分は大丈夫だろうではなく、私たち一人一人がいつ感染するかわからない、いつ感染してもおかしくない状況です。感染しないように各自が気を付けて行動するとともに、もし万一自分が感染した場合にも他の人に感染を広げないように気を付けることが必要です。

学校では感染が広がりやすい「密閉」「密集」「密接」が起きないように配慮します。ぜひみなさんも、一人一人が学校の中はもちろん校外においても、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底しましょう。換気が悪くて人が密集するような空間に集団で集まることは絶対に避けましょう。

同時に、フェイクニュースなどの不確かな情報に惑わされることなく、一人一人が冷静に判断し、行動することが大切です。また、各自で健康管理と健康観察をしっかり行いましょう。もし、体調が悪い時は外出を控えるとともに、すぐ家の人や先生に相談しましょう。しっかりと自分を守ることが、結果的に周りの人を守ることにつながります。

みなさんは、春休みも含めた長期休業中に自主的に学習に取り組むことができたでしょうか。臨時休業期間中に、各教科の先生方から課題や学習についての指示が出されます。しかし通常の授業が実施できない中で、どのように学習を進めるか、そして学習の成果が上がるかどうかは、みなさんの自主性によるところが極めて大きくなります。みなさんの自主性が問われます。

「自主的」とか「自主性」という言葉はよく聞きますが、具体的にどんなことをイメージしますか。学校なら先生から、家では家の人から「言われる前にやる」、「言われなくてもやる」ということも自主性かもしれません。でも、言われるとか言われなにかいうレベルではなく、自分がやりたいことや自分にとって必要なことを「自分で考える力、考えたことを実行する力」が自主性です。

長期休業中には、まさにみなさんの自主性が問われています。「自分で計画を作って、それを着実に実行する強い意志」が試されます。今部活動はできない状況ですが、部活では、みなさんは自主性を発揮して、自主的に取り組んでいるのではないのでしょうか。

自分自身を客観的に見つめ、自分で自分の行動を管理する。そんな能力が将来社会に出た時には必ず必要になります。つつい楽な方に流されてしまう自分をコントロールするのは大変難しいことです。「自分で考える力、考えたことを実行する力」や「自分で計画を作って、それを着実に実行する強い意志」を身に着きたいものです。ぜひ、今回の長期休業中に、自主性について考えてみてください。

校長 高橋 信之